

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	8434417
園名	中瀬幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

様々な文化に触れる 演芸を楽しむ

<テーマの設定理由> (テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

プロの芸能から刺激を受け、自らも挑戦して楽しむ

2. 活動スケジュール

11/12(火) 太神楽曲芸コンビ ボンボンブラザースの演芸会

3. 探究活動の実践

<活動の内容> ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定 ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり等
会場には紅白幕を張り、華やかで楽しい雰囲気 연출しました。その場にいるだけでワクワクするような空間が広がり、子どもたちの期待も高まっている様子でした。

4. 活動の写真 活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付

5. 振り返り <振り返りによって得た先生の気づき>

演目が始まると、子どもたちは一つひとつの芸に大きな歓声をあげたり、驚きの声を上げたりしながら、心から楽しんでいました。見ているだけでなく、自分でも挑戦してみたいという気持ちが芽生え、実際に技に挑戦する姿も多く見られました。何度も繰り返し、できるようになるまで諦めずに取り組む姿勢がとても印象的でした。

そして、努力の成果成功すると、大きな拍手と歓声が上がリ、会場全体が温かい雰囲気 に包まれました。周りの友だちも、仲間が成功する瞬間と一緒に喜び、応援する姿があり、挑戦する楽しさや仲間と支え合う喜びを分かち合う貴重な時間となりました。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	8434417
園名	中瀬幼稚園

1. 活動のテーマ

園内にいる生き物に親しむ

<テーマ>

園内にいる生き物に親しむ

<テーマの設定理由> (テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

子どもたちが普段から興味を持っている様々な生き物について、更に興味や関心が深くなるよう、専門家から話を聞く

2. 活動スケジュール

年間を通して園の虫に触れる

10/7(月) 虫博士 落合先生による虫の話

3. 探究活動の実践

<活動の内容> ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定 ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり等
年長と年少年中に分かれて落合先生に話をさせて頂いた。身近な虫の写真をスライドを使って見せて頂きながら、様々な虫の特徴を年齢に合わせて知る。

4. 活動の写真 活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付

5. 振り返り <振り返りによって得た先生の気づき>

落合先生のお話を聞いたことで、子どもたちの虫への興味や関心がさらに深まり、これまであまり意識していなかった子も、虫の世界に興味を持つようになりました。話を聞いた後には、「この虫はどこにいるの?」「何を食べるの?」といった疑問が次々と生まれ、実際に園庭や自然の中で虫を探して観察する姿も見られるようになりました。

また、子どもたちは自分が知っていることをみんなの前で発表したり、「ぼくはこう思う!」「この前こんな虫を見つけたよ!」と積極的に意見を伝えたりする姿が見られました。さらに、先生や友だちに質問をすることで新しい知識を得たり、考えを深めたりする様子もあり、一人ひとりの好奇心や学びを広げようとする姿勢が感じられました。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	8434417
園名	中瀬幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

秋の季節の歌に親しむ

<テーマの設定理由> (テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

音楽に親しみ聴いたり一緒に歌ったりする楽しさを味わう

2. 活動スケジュール

12/17(火)シャンソン歌手 ミミカさんのコンサート

3. 探究活動の実践

<活動の内容> ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定 ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり等

♪大きなのっぽの古時計、♪里の秋、♪小さな秋、♪あかとんぼ、♪小さな木の実 他

4. 活動の写真 活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付

5. 振り返り <振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちは、これまでの歌の時間を通して、優しく響く歌声の心地よさを感じるようになり、大きな声で怒鳴るように歌うのではなく、穏やかで美しい歌声を意識して歌う姿が見られるようになってきました。

歌の持つ雰囲気や歌詞の意味を感じ取りながら、自然と声の強弱をつけたり、メロディーに合わせて心を込めて歌ったりする様子も見られます。友だちと声を重ねる楽しさを味わいながら、お互いの歌声を聴き合い、響きを大切にしようとする姿もあり、歌うことへの関心や表現の幅が広がっていると感じます。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	8434417
園名	中瀬幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

冬から春にかけての様々な歌に親しむ

<テーマの設定理由> (テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

歌を聴かせてもらったり一緒に歌ったりして歌う楽しさを経験する

2. 活動スケジュール

1/27(月)金指修平さんの歌のコンサート

♪山の音楽家、♪手のひらを太陽に、♪テネシーワルツ、♪こぎつね、♪鉄腕アトム、♪北風小僧の寒太郎等

3. 探究活動の実践

<活動の内容>・活動のために準備した素材や道具、環境の設定・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり等

知っている曲は大きな声で歌い、リズム感のある曲では身体を揺らしたり手を叩いたり隣に座っている友達と肩を組んだりして楽しんでた。

4. 活動の写真

 活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付

5. 振り返り

 <振り返りによって得た先生の気づき>

毎日歌う時間が、これまで以上に楽しく、心弾むひとときとなっています。子どもたちは親しみのある歌を楽しむだけでなく、新しい歌にも積極的に挑戦し、曲ごとに異なるリズムやメロディーを感じながら、のびのびと歌っています。

時には手拍子を入れたり、体を揺らしたりしながら、自然と音楽に合わせて表現する姿も見られます。友だちと声を合わせることで一体感が生まれ、みんなで歌う喜びを感じているようです。歌詞の意味を考えたり、気に入ったフレーズを口ずさんだりする様子もあり、歌を通して豊かな表現力や感受性が育まれていることが伝わってきます。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	8434417
園名	中瀬幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

身の回りにあるものを使って様々な音を楽しむ

<テーマの設定理由> (テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

合奏の楽しさを知る

2. 活動スケジュール

1/28(火)即興的アコースティックバンド「PINKFISH」と村上康子さん(ピアニスト)によるコンサート

3. 探究活動の実践

<活動の内容>・活動のために準備した素材や道具、環境の設定・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり等

17:06 関麻理子 ♪雪

♪たき火 ♪北風小僧の寒太郎 ♪鉄腕アトム ♪ドレミの歌 ♪鬼のパンツ

♪冬景色 ♪東京ラプソディ ♪おさるのかごや ♪クラリネット壊しちゃった

♪村祭り

4. 活動の写真 活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付

5. 振り返り <振り返りによって得た先生の気づき>

演奏会の後、園庭には板や裏返したバケツが並べられ、大人がリズムを刻み始めると、興味を持った子どもたちが次々と集まってきました。子どもたちは自然と体を揺らしながら音に耳を傾け、やがてリズムに合わせて手を叩いたり、思い思いに歌い出したりする姿が見られました。即興の演奏が広がる中で、子どもたちは音の響きやリズムの面白さを存分に楽しんでいるようでした。

また、クラスでの集まりの際には、それぞれが思い思いの楽器を手に取り、歌やピアノの演奏に合わせて合奏を楽しむ時間が続いています。子どもたちは音を重ねる喜びを感じながら、友だちと息を合わせたり、自分なりの表現を工夫したりする姿が見られます。演奏を通じて、互いの音を聴き合うことの大切さや、みんなで一つの音楽を作り上げる楽しさを実感しているようでした。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	8434417
園名	中瀬幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

様々な楽器を見たり音を聴いたりして音楽を楽しむ

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

アルゼンチンタンゴの世界に触れ様々な楽器を知り音楽を感じる

2. 活動スケジュール

12/16(月)バンドネオン奏者 小松亮太さんとそのグループによるコンサート

3. 探究活動の実践

<活動の内容> ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定 ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり等

初めて見る楽器の音色に聴き入る子どもたちの姿があった

テンポのいい曲には身体を揺らし、静かな音楽にはじっと耳を澄ませていた。

4. 活動の写真

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子ども向け・大人向けといった枠にとらわれて音楽を選ぶのではなく、質の高い本物の音に触れることで、子どもたちは自然と耳を傾け、集中して聴き入る姿が見られました。

音楽の持つ豊かな響きや美しい旋律が子どもたちの心を引き込み、言葉では表現しきれない感動や興味を引き出しているようでした。ただ楽しむだけでなく、一つひとつの音をじっくり味わうように聴く姿が印象的で、良い音楽に触れることで、子どもたちの感受性や想像力が育まれていることを感じました。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	8434417
園名	中瀬幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

語り部 川島昭恵さんのお話を聞く

<テーマの設定理由> (テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

卒園間近の年長児、また進級を控えた他の学年の子どもたちも落ち着いた雰囲気の中で語りを聞く時間を持つ。

2. 活動スケジュール

2025,3,11 中瀬幼稚園 遊戯室。

3. 探究活動の実践

<活動の内容> ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定 ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり等

語りにしっかりと集中できるよう、会場の照明を落として暗転させ、静かで落ち着いた雰囲気を作りました。まるで物語の世界に引き込まれるような空間が生まれ、子どもたちも自然と心を落ち着け、語り手の声に耳を傾ける姿が見られました。

年少 9:45 佐々木たづ作「春のお使い」

年中 10:05 佐々木たづ作「良い耳の子馬」

年長 10:35 「春のお使い」「良い耳の子馬」

4. 活動の写真 活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

川島さんのお話を聞いた子どもたちは、「点字はどのように読まれるのですか？」や「点字の文章は誰が作るのですか？」といった質問をし、興味を持って学ぼうとする姿が見られました。

また、お話の中で川島さんが「春のお使いにはどのようなものがあると思いますか？」と問いかけると、子どもたちは「桜」「花びら」「水仙」「花」など、自分が知っている春のものを元気に答えていました。

さらに、「良い耳の子馬」のお話を聞いた後には、「仲が良いからこそ喧嘩することもあるよね」「仲直りできないこともあるけれど、信じていればきっと仲直りできるよね」「このお話の続きをもっと聞きたい！」といったさまざまな思いを川島さんに伝える様子がありました。

語りの会の後には、避難訓練にもご一緒いただき、目の不自由な方が困っているときにどのように手助けをすればよいのか、子どもたちにもできることは何かについてお話くださいました。特に、交差点での対応や点字ブロックの役割、バスなどの公共交通機関を利用する際の工夫など、具体的な場面を交えてわかりやすく教えてくださいました。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号	8434417
園名	中瀬幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

様々な素材を使っでの空間づくり・草木描写表現

<テーマの設定理由> (テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

①創造と変化を楽しむ体験の提供 (粘土あそび)

可逆性のある粘土は、何度でも形を変えることができるため、子どもたちは自由に試行錯誤しながら創造的な遊びを楽しむことができます。作ったものを壊してもやり直せる安心感があり、思い切った発想や表現が生まれやすくなります。

②創造力と問題解決能力の育成 (わら縄アスレチック)

縄の張り方や結び方を工夫しながらアスレチックを作ること、どのように設計すれば安全で楽しい遊び場になるかを考える力が養われます。試行錯誤しながら自分たちの遊び場を作ること、創造力や問題解決能力を育むことができます。

③自然を観察する力を育てる (絵具を使った描写表現)

草木を描くことで、葉の形や色、枝の伸び方など、普段は意識しない細かな特徴に気づくことができます。これにより、子どもたちが自然に対して興味を持ち、じっくりと観察する力を育むことができます。

2. 活動スケジュール

年間を通して

3. 探究活動の実践

<活動の内容>・活動のために準備した素材や道具、環境の設定・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり等

①粘土あそび

● 環境の設定 (材料：粘土、養生シート、作業版)

床には広めに養生シートを敷き、汚れを気にせずのびのびと取り組める環境を整える。一人ひとりに作業版を用意し、自分のスペースでじっくりと遊べるように配慮する。また、子どもたちが思う存分表現できるよう、粘土は十分に用意しておく。

● 子どもの姿・声・関わり

隣の子の作品を見て「それどうやって作ったの?」「真似していい?」と興味を持って関わる姿が見られる。互いの作品に刺激を受けながら、工夫したり真似したりする中で、自然とコミュニケーションが生まれていく。教諭は「面白い形だね、これは何かな?」と声をかけながら、子どもの想像や発想を引き出し、表現する楽しさを深めていく。

②わら縄アスレチック

● 環境の設定 (材料：わら縄)

自然素材としての「わら縄」に親しめるよう、触ってもチクチクしない柔らかいものを用意した。活動は小グループで円になれるようなスペースを確保し、子どもたちが互いに顔を見ながらやりとりできる環境を整え

た。また、ひもを結んだり編んだりする際に参考にできるよう、シンプルな編み方の見本も準備し、子どもたちの発想が広がるよう工夫した。

- 子どもの姿・声・関わり

わら縄の匂いや手ざわりに触れた子どもたちは、「なんかいいにおいがする！」「ふしぎな手ざわり～」と感覚的な気づきを楽しみながら活動をスタートさせた。素材に興味をもち、「ひっぱってもきれいなよ！」「いっしょに結んでみよう！」と友達と協力しながら編む姿が見られた。輪っかや動物の形など、自分なりの表現を見つけて楽しむ子どもも多く、創造的な活動が広がっていった。教諭は「そのひも、どうやってつなげたの？」「工夫したところ教えて！」と声をかけながら、子どもの試行錯誤する過程を大切に見守り、意欲を支えていった。

- ③ 絵具を使った描写表現

- 環境の設定（材料：絵具、画用紙）

絵具は数色を職員があらかじめ用意し、その日の気温や湿度に応じて、子どもが一番描きやすい状態に調整する。活動は床でのびのびと行えるように環境を整え、身体全体を使って表現できるようにする。また、子どもたちの興味を引き出すために、生活に密着した親しみのあるテーマを設け、描く対象への関心を高めながら活動を展開する。

- 子どもの姿・声・関わり

絵具の感触や色の広がりを楽しみながら、子どもたちは思い思いの表現に集中して取り組む姿が見られる。描くことに没頭できるような静かで安心できる雰囲気の中で、それぞれのペースで表現を深める様子が印象的であった。子どもが自由に表現できるよう、環境づくりが非常に重要である。

4. 活動の写真	活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付
----------	---------------------

- ① 粘土あそび

- ② 空間アスレチック

③絵具を使った描写表現

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

①粘土あそび

粘土あそびを通して、子どもたちが自分の手で素材に触れ、自由に形を作る中で、豊かな発想力や表現力を発揮していることに改めて気づいた。特に、友達の作品に興味を持って関わる姿から、子ども同士の学び合いの力の大きさを感じた。また、環境を整えることで子どもたちは安心して集中でき、それぞれのペースで遊びを深めていたことから、環境構成の重要性も実感した。これからも子どもたちの「やってみたい」「真似してみたい」という気持ちを大切にしながら、遊びが広がっていくような関わりを心がけていきたい。

②わら縄アスレチック

子どもたちは、初めて触れるわら縄という自然素材に対して、匂いや感触など五感を使って興味をもって関わっていた。思い思いに形を作ったり、友達と協力して結んだり編んだりする中で、自然と会話が生まれ、遊びが広がっていく様子が見られた。素材に触れること自体が探求心や発想力を刺激し、遊びの中で「どうすれば思い通りの形になるか」と考える姿から、子どもたちの試行錯誤する力や創造性の豊かさを感じた。今後も、自然素材に触れる体験を通じて、子どもたちの主体的な学びや人との関わりを育んでいきたい。

③絵具を使った描写表現

子どもたちは、身近なテーマをもとに絵具でのびのびと表現する中で、自分の感じたことや経験を思い出しながら、色や形に気持ちを込めて描いていた。絵の具の色の変化や筆の感触を楽しみながら、集中して取り組む姿から、表現することの喜びを感じている様子が伝わってきた。また、床で自由に描ける環境や、その日の気候に合わせた絵の具の状態など、細やかな環境づくりが子どもたちの集中力を引き出す大きな要因となっていた。今後も、子どもが安心して自分の思いを表現できるよう、環境面や導入の工夫を大切にしていきたい。